

# 防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成22年度病害虫発生予察防除情報第12号

## 普通期水稲 穂吸汁性カメムシ類の防除対策について

本田における穂吸汁性カメムシ類の発生が多くなっています。圃場での発生に十分注意し、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

### 記

#### 1. 発生状況

8月下旬の巡回調査(83筆)の結果、出穂した水稲圃場内における主要な穂吸汁性カメムシ類(ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ、アカスジカスミカメ、ミナミアオカメムシ)の捕虫網による20回すくいとり虫数は0.9頭(平年0.6頭)とやや多く、発生圃場率は34.9%(平年27.9%)であった。アカスジカスミカメの発生が最も多く、次いでシラホシカメムシ、ホソハリカメムシの発生が多かった。

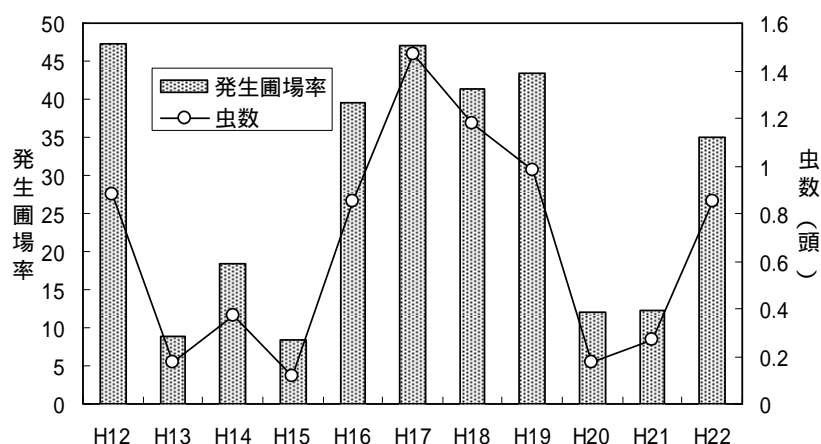


図 水稲圃場内におけるカメムシ類の発生推移(8月下旬)

#### 2. 防除対策

- (1) 出穂期以降すでに防除を行った圃場においても発生状況に注意し、発生が認められるようであれば1回目の防除から7～10日後に防除を行う。
- (2) カメムシ類の飛来源である圃場周辺のイネ科雑草地も含めて広域一斉防除を行うとより効果が高い。
- (3) 出穂期以降の圃場周辺の除草は、カメムシ類の圃場への侵入を助長するので避ける。
- (4) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守するとともに周辺環境に配慮し、薬剤の飛散に十分注意する。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

